

近畿大学東大阪キャンパス西門広場

Kindai University Main Campus West Gate Plaza

大阪府東大阪市
Higashiosaka City, Osaka



基壇によって調律された西門広場の全景 Panoramic View of the West Gate Plaza Composed of Platforms ('17.07)



既存樹に合わせた植栽樹 Planting Area ('17.07)



四季を感じる緑台 Seat Wall ('17.07)

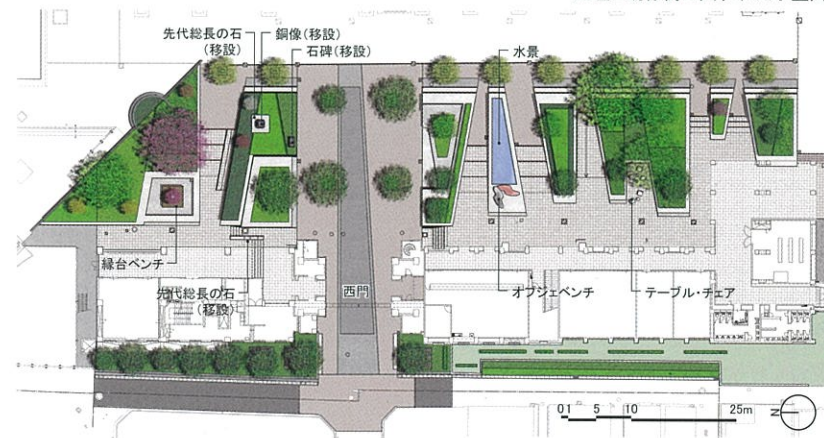


イチョウ並木と基壇 Ginkgoes and the Platforms ('17.07)

畠山 文聡 Fumiaki Hatakeyama 忽那 裕樹 Hiroki Kutsuna 倉本 明典 Akinori Kuramoto
 澤井 春美 Harumi Sawai 山田 匡 Tadashi Yamada 島 葵 Aoi Shima
 岡 俊徳 Toshinori Oka 石原 康宏 Yasuhiro Ishihara
 株式会社NTTファシリティーズ 株式会社E-DESIGN
 NTT FACILITIES,INC. E-DESIGN,inc.



基壇と既存樹に囲われた小空間 Small Space Surrounded by the Existing Trees and Platforms ('17.07)



平面図 Plan



大学祭の風景 School Festival ('16.11)

近畿大学東大阪キャンパスでは、日本屈指の教育環境を目指した再整備が進められている。2007年から設計に関わる中で、棟ごとエリアごとに歴史や性質が異なる空間を、基壇を基調としたランドスケープにより風景を調律し、キャンパス全体の景観に統一感を与えることを心掛けてきた。本計画は、大学の象徴となる西門広場のリニューアルである。長い歴史の中で豊かに育った緑を受け継ぎ、キャンパス全体の風景と調和のとれたゲート空間の創出を目指した。

整備前の西門広場は、ケヤキやクスノキなど豊かな緑が場所の資産となっていた。一方で建築と広場が段差によって分断され屋内外

のつながりが弱い、動線と滞留スペースが広場内に混在し落ち着いた屋外空間が少ない、などの課題があった。動線と滞留空間を再編し、建築、既存樹木、動線各々の高低差をつなぎとめる「積層する基壇」を配置した。建築1階と基壇の高さを合わせることで、ピロティから連続する広がりのある空間を確保した。また、積層の段数を細やかに調整することで樹木の根元高さに合わせたレベルを設定し、樹木の元位置での保存を心掛けた。積層には意図的に“ずれ”をつくり、フロアレベルや広がり異なる空間を展開することで、滞留の多様性を支える屋外空間を生み出した。基壇によって滞留空間と領域が分けられた動線

は、既存のイチョウ並木が骨格をつくる象徴的なプロムナードとして再編し、大人数の往来や大学祭をはじめとする様々な大学行事を許容する広がりも確保している。

本計画は、「風景の調律」をテーマに長年関わり続けてきた東大阪キャンパスの再整備の中で、キャンパスの象徴となるエリアを刷新することができたプロジェクトである。供用直後から西門から各棟へ向かう新しい人の流れが生まれ、広場では学生たちが思い思いの居場所を見つけ仲間と楽しむ姿を見ることができた。この場所が、学生の日常を支える空間としてキャンパスの新たな資産となることを願っている。

“Tuning the Landscape” as a theme, we have been involved in the improvements of Kindai University Main Campus over the years, and this project was the renewal of the symbolic west gate area. The mature existing trees were assets of the site while the elevation difference divided the relationship of the building and the plaza, and circulation paths and spaces were mixed up without a clear purpose. Layered platforms were utilized to organize paths and spaces, and connect the buildings, existing trees, and paths with adjusted elevations. The elevations of the building first floor and the platform were matched to create

an expansive open space connected to the piloti space. The number of layers was carefully designed to preserve the existing trees at their original locations. The intentional “gaps” in layers create different levels and sizes of spaces that accommodate diverse uses. The primary path became a symbolic promenade framed by the existing ginkgo trees with a capacity to hold large events. Ever since the completion, there have been a flow of people from the west gate to each building and students gathering at different parts of the plazas. We hope this place will become a new asset of the campus to enhance students’ lives.

作品評(野口 健一郎)

明確なコンセプトを掲げ、シンプルな空間構成・素材選定によって実現した大学の象徴となる広場再生である。積層基壇をh110mmのモジュールで統一し、その高さや傾き、笠木巾の変化といった単純な形態操作によって、既存樹木の根系域を保護しながら、人々の多様な居方を許容する場に転換したデザインは秀逸である。着座スケールで調えられた基壇端部には、広場に関わるきっかけを生み出すディテールへのこだわりが感じられた。一方、移植をした樹木の樹勢が弱まってきており、「場所の資産」を未来へ受け継ぐ植栽基盤の確保やメンテナンスが望まれる。

近畿大学東大阪キャンパス西門広場

所在地：大阪府東大阪市小若江3丁目4-1

事業主：近畿大学

計画・設計・監理

基本構想：畠山文聡・岡俊徳（NTTファシリティアーズ）、忽那裕樹・山田匡・倉本明典*（E-DESIGN）（*は元所員）

基本計画：同上

基本設計：同上

実施設計：畠山文聡・岡俊徳（NTTファシリティアーズ）、忽那裕樹・山田匡・倉本明典*・島葵（E-DESIGN）（*は元所員）

施工監理：畠山文聡・澤井春美・岡俊徳（NTTファシリティアーズ）、忽那裕樹・山田匡・石原康宏・島葵（E-DESIGN）

計画及び設計協力：

なし

施工者：峯勝彦（大林組）、植栽工事/明石勝幸（明石緑化）、石工事/羽原良博（安藤大理石）

建築設計：NTTファシリティアーズ

計画・設計期間：

2014年8月～2015年3月

施工期間：2015年4月～2016年3月

規模：対象敷地面積：6,260㎡

建築面積：2,440㎡

キーワード：

大学キャンパス再整備、既存樹保存、動線整理、水景、積層基壇

立地条件：大学キャンパス

名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス

所在地：愛知県名古屋市中区矢田南4丁目102番9

事業主：学校法人名城大学

計画・設計・監理

基本構想：山崎信明（名城大学）

基本計画：同上

基本設計：齋藤求・藤田雅義・赤堀彰彦（日本設計）

実施設計：同上

施工監理：同上

計画及び設計協力：

中庭デザイン：山崎信明（名城大学）

施工者：横山裕二・越川直人・石原研一朗・西山昇・市橋誠一（大林組）、植栽工事/岩間造園、舗装工事他/大林道路

サインデザイン：アールツー・デザインシステム

計画・設計期間：

基本設計 2013年7月～2014年3月

施工期間：2014年8月～2016年11月

規模：敷地面積 17,937.07㎡、外構面積 約 8,800㎡、屋上庭園 約 2,500㎡、建築面積 約 9,100㎡

キーワード：

大学キャンパス、屋上庭園、せせ

らぎ、遊歩道、再利用煉瓦

立地条件：準工業地域・準防火地域、絶対高さ 31 m 高度地区

学校法人常翔学園 大阪工業大学梅田キャンパス

所在地：大阪市北区茶屋町 1-45

事業主：学校法人常翔学園

計画・設計・監理

基本構想：南博之・勝本祐太・東原理子（服部・石本・安井設計監理共同企業体）

長濱伸貴・近藤秀樹・李泰衡*（E-DESIGN）（*印は元所員）

基本計画：同上

基本設計：南博之・勝本祐太（服部建築事務所）・東原理子（石本建築事務所）（服部・石本・安井設計監理共同企業体）

長濱伸貴・近藤秀樹（E-DESIGN）

実施設計：同上

施工監理：同上

計画及び設計協力：

施工者：中筋知行・楠浴淳士・楠本浩司（西松建設）

羽迫周平（西部造園）

併設作品：

計画・設計期間：

2012年9月～2013年12月

施工期間：2014年3月～2016年10月

規模：グラウンドレベル：約 2,200㎡、6F 屋上緑化：約 1,400㎡

キーワード：

都市型タワーキャンパス、屋上緑化、土地区画整理事業

立地条件：商業地域、茶屋町地区地区計画内

広島修道大学キャンパス ランドスケープ計画

所在地：広島県広島市安佐南区大塚東 1-1-1

事業主：学校法人修道学園

計画・設計・監理

基本設計：根本哲夫・橋上司・小野光則（日本設計）

実施設計：同上

施工監理：同上

施工者：土井紅葉園（新3号館）/フジタ、大下大松園（協創館<8号館>）/五洋建設

併設作品：

計画・設計期間：

新3号館/2011年2月～2012年3月、協創館<8号館>/2011年2月～2013年8月

施工期間：新3号館/2012年2月～2013年12月、協創館<8号館>/2013年9月～2015年3月

規模：約 7,700㎡

キーワード：

大学キャンパス、改修

立地条件：市街化区域、第1種中高層住居専用、近隣商業地域

神奈川工科大学キャンパス・リニューアルプロセス

所在地：神奈川県厚木市下荻野 1030

事業主：学校法人 幾徳学園

計画・設計・監理

基本構想：小池 孝幸（㈱ランドスケープデザイン）

基本計画：同上

基本設計：同上

実施設計：同上

施工監理：同上

施工者：鹿島建設 横浜支店、鹿島道路

併設作品：建築：KAJIMA DESIGN

計画・設計期間：

2003年08月～2014年10月

施工期間：2004年03月～2015年03月

規模：キャンパス全体/129,335.04㎡、外構面積/約 10,600㎡

キーワード：

キャンパス、リニューアル、芝生広場、マスタープラン

立地条件：第一種住居地域・準防火地域

JILA

ランドスケープ作品選集

JILA selected works of landscape architecture

ランドスケープ研究 Vol.81 増刊 作品選集

2018

NO. 14

公益社団法人
日本造園学会

ランドスケープ研究

第81巻 増刊 作品選集 平成30年3月2日印刷 平成30年3月14日発行

発行所 公益社
団法人 日本造園学会

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-20-11
造園会館 6 F
TEL 03-5459-0515

印刷所 (株) 三友社

東京都新宿区水道町1-13
TEL 03-3513-7911
